

『ぼくと滋賀県環境について』

日野小学校 6年 朝日 泉光

ぼくは、低学年のころから、昆虫や鳥を観察することが好きでした。なぜなら、色々な種類の昆虫や鳥がいるからです。それに面白い行動もするからです。

ぼくが5年生の時、伊吹山でイヌワシのひなが生まれました。ぼくは、それをライブ配信で見るのが楽しみでした。しかし、そのイヌワシのひなは、上手く育たず死んでしまいました。悲しかったです。えさとなる動物が少なかったそうです。

おなじ時に福井との県境に風力発電を作る計画がありました。しかし、イヌワシやクマタカが風力発電のプロペラに当たってしまったり、生き物の生息地をうばったりする心配があるため、知事がもっと調査をするべきだと求めた記事を読みました。

そこでもっと詳しく知りたいと思い、県のこども議員に応えました。選ばれてからは学習会や見学会に参加し、滋賀の環境、まちづくり、多様性などについて学びました。そして活動のまとめとしてぼくがこども議員で知事に提案した議題がMLG sを広めることです。MLG sとは、SDG sの滋賀県版で13個のゴールがあります。しかし、アンケートによるとそれを全く知らない人は令和3年度で74%、令和4年度で67%と県民にはあまり知られていません。だから、ぼく達は提案をしました。その内容は、MLG sのアプリを作り、環境に関係する所に行ったり、ゲームをするとポイントが得られ、それは買い物に使えるポイントと交かンできるものです。でも、その後、広めるための行動はできずにいました。

同じ5年の時、フローティングスクールに行き、琵琶湖学習をしました。船から色々な鳥を探そうとはりきっていましたが、見つけたのは、トンビ、ダイサギ、カワウのみでした。最も多く見つけた生物は、プランクトンです。けんぴ鏡でみると様々な種類のプランクトンがいて、面白かったです。期待していた鳥はわずかな種類だったので残念でしたが、みんなで琵琶湖の上で学習するのは、楽しかったです。

これらの経験からぼくは、もっと琵琶湖の環境について知りたいと思い、今年はラムサールびわこ大使に応えました。琵琶湖の鳥が今、どんな状況なのか、生態系が今、どうなっているのか気になります。そして、日野川のことも知りたいです。なぜなら、去年日野川ダムに一時期水が全く無く、底まで見えていた時がありました。その時には、琵琶湖の水位も低くて船の航路が変わったり、生活にも影響が出たそうです。ダムの魚や鳥はどこへ行ってしまったのか、このダムの水の減少と琵琶湖の水位が下がったことは、つながっているのか関係も知り

たいです。ラムサールびわっこ大使では、セタシジミ漁体験をしたり、水鳥を観察したりします。県外派遣では、鳥取県・島根県の中海・宍道湖に行く予定です。現地の団体と交流をしたり、島根のヤマトシジミと滋賀のセタシジミのちがいについて学んだりできるので、楽しみです。もちろん、ガンなどの鳥が見れることも楽しみです。

こうした経験を人とそれ以外の生き物が共存できる環境を整えることに生かしていきたいです。そうすれば、いつまでも日野の自然、滋賀の自然を守る事につながると考えます。